

## APEC 財務大臣会合議長への書簡【仮訳】

2013年8月2日

APEC 財務大臣会合議長  
インドネシア財務大臣  
Chatib Basri 閣下

拝啓

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC) を代表し、私たちは APEC 地域が直面する金融・経済の諸問題に係る私たちの提言を APEC 財務担当大臣の皆様と共有致したいと思います。

私たちの昨年の提言以降、追加的な経済支援やリスクアセットの急速な回復を受けて国際的な金融環境、市場環境は改善してきております。これらの好環境はより深い政策へのコミットメント、より強い金融面での刺激策、継続的な流動性供給という施策群のコンビネーションを反映しております。その結果、テールリスクは減退し、信頼は高まり、経済見通しは明るさを見せております。しかし、世界的な経済環境は未だ停滞しており、改善には構造改革への取り組みや回復路線の継続推進に向けた更なる政策実施が求められるでしょう。加盟国・地域がインフラ投資など成長のための資金を必要とする一方、私たちはアジア太平洋地域の変わり易い資本フローと不安定な金融市場を懸念しています。全ての加盟国・地域が安定と成長に向けて政策を実行することが重要です。今年度、ABAC は次の金融関連の目標を最優先課題と位置付けております。(a) 域内金融市場統合の進展、及び諸規制の調和・最適化を進めるべくアジア太平洋金融フォーラム (APFF) を立ち上げる(b) バランスが取れ、革新的な成長を実現するための戦略を整備する(c) インフラ官民パートナーシップ (PPP) とインフラ・ファイナンスを推進する (d) 低所得世帯、中小・零細企業 (SMME) の利益となるファイナンシャル・インクルージョンを推進するため実効的なソリューションを促進する、以上4点です。

### 域内金融市場の発展に向けた官民連携プラットフォームの創設

2012年、APEC 財務大臣には APFF ~金融市場統合の発展を進めるための官民連携地域プラットフォームへの創設に向けて調査探求を行う、とする ABAC の提言を歓迎頂きました。この目的に基づき、2013年4月オーストラリア政府主催によるシンポジウムがシドニーで開催されました。シンポジウムでは金融市場の発展を促進する上で、この官民連携が重要であることが理解されました。官民連携は実体経済のニーズ、並びに持続可能で、バランスが取れ、包摂的で、革新的な成長を求める域内の熱い思いを支援するものです。APFF は民間部門が当局と協働することで、さまざまなフォーラムの下での現行イニシアティブの価値を高めることが出来るものです。この協働の目的は、極めて重要なが、未だ取り組まれていないギャップや新しい規制による意図せざる

結果を特定すること、また国際金融規制基準の作成において金融当局がより積極的な役割を果たすよう支援することです。ABAC は APEC 財務大臣がシドニー・シンポジウムのレポートで提案されたワーク・プログラムに基づく APFF の立ち上げを承認されることを提言致します。ABAC はアジア地域ファンド・パスポート (ARFP) の発展を提言し、またイニシアティブが進捗していることから金融当局が市場参加者との関係・関与を増やされることを提言致します。

### インフラファイナンスのための地域官民パートナーシップの拡大

巨額の貯蓄と民間部門のノウハウは、より質の高いインフラを、納税者とユーザーにとって、より低いコストで実現させるというニーズを満たしうるものです。しかしながら、政府には実現可能な環境の提供に向け、民間部門と多国間金融機関が緊密に協働することが必要です。アジア・太平洋インフラストラクチャー・パートナーシップ (APIP) に於ける幾つかの加盟国との政策対話では、①各機関の協調と連携、②リスク、並びに様々なリスクの引き受けに於いて各々どの機関が最適な機関かについてのより深い理解、③強固で、信頼でき、信用力のある公的機関、④政策改革、計画、業務、バイアビリティ・ギャップ・ファイナンスの能力、⑤優先度の高い部門とプロジェクトの明示、⑥地場通貨建て長期ファイナンス、の諸点が強調されました。ABAC は APEC 財務大臣が能力構築と APIP と連携したインフラファイナンスのベスト・プラクティスの共有を上手く纏めていく目的から、地域フレームワークを創設することを提言します。

### 域内貯蓄の長期投資への活用

ABAC は投資フローの透明性と予測可能性を高める 3 カ年プログラムに着手しました。政府系投資ファンド (SWF) ・老齢退職年金・保険などに投資されている機関投資家の貯蓄が、国内およびクロス・ボーダーの長期インフラ・プロジェクトに投資されるように奨励も行うものです。本プロジェクトの調査が初期段階で SWF がどのような役割を果たしうるかを探るべく行われています。ABAC は 2013 年 9 月北京でビジネス関係者、政府関係者、研究者、SWF と国有企業 (SOE) の代表者が参加する対話を開催する予定です。北京対話の結果と提言内容は域内の投資フローを高める方策として財務大臣に報告される予定です。ABAC は透明かつ市場原理に基づいた方法で、機関投資家の貯蓄を国内や国境を越えた長期のインフラ投資へ活用する手段として、投資のベスト・プラクティス共有に向けたフレームワークを創設するべく、APEC 財務大臣がこの 3 カ年イニシアティブを認めるよう提言します。

### 更なるファイナンシャル・インクルージョンに向けたイノベーションの活用

イノベーションはコストの大幅な低減、低所得世帯や零細企業向け金融サービスの効率の向上を通してファイナンシャル・インクルージョンを促進しています。インドネシア政府主催、ABAC その他の協力による 2013 年アジア太平洋・ファイナンシャル・インクルージョン・フォーラムでは、ファイナンシャル・インクルージョン促進のためイノベーションの活用を奨励する政府への様々な振興策が出されました。ABAC はモバイル・バンキング、無店舗型バンキング、送金を促進し、市場インフラ (特に決済システム、信用情報システム、担保付貸出) を改善し、革新的アプローチ、効果的な金融教育、消費者保護を促進するキャパシティ・ビルディングに取り組むなど APEC 加盟国・地域が政策改革を約束するよう求めます。ABAC は域内に民間主導のベンチャーキャピタルの種子を蒔いて育てるため、政府支援のファンド・オブ・ファンズの実現と、そしてこのプロセスを開始するため、

関心ある参加国、多国間金融機関、ABAC、民間部門との協調連携を求めます。

### 新たな金融規制の予期せざる結果

ABAC は 2012 年 4 月と 2013 年 5 月の 2 度、APEC 財務大臣宛に新たな金融規制が他の地域へ及ぼす影響について懸念が増している旨を述べた書簡を発出致しました。書簡では、金融規制の導入の影響が世界経済の成長への重要なエンジンである APEC 地域の更なる発展の可能性を阻害しかねないと憂慮、特に米国のドッド・フランク法と EU の金融取引税の他の地域への導入について懸念しております。ABAC は APEC 地域への予期せざる地域を跨いだ影響についての懸念に対処すべく、APEC の金融規制当局者が新たな金融規制のモニターや実施に際してお互いに緊密に連携することを提言します。

### 結論

私たちは、APEC 地域が現在の経済状況を踏まえ直面している課題に立ち向かい続けること、そして進展には長期に亘る政策イニシアティブと構造改革、更に域内の金融問題に対処する上で政府間の協調行動が不可欠であることを認識しております。私たちは 9 月バりに於ける APEC 財務大臣の皆様との対話を心待ちにしております。席上、私たちはアジア・太平洋地域全域でバランスの取れた、包摂的で、持続可能で、革新的で、安定した経済成長を推進する上で、これまで述べてきた政策提言について更に詳細な議論をさせて頂ければ幸甚です。

敬具

ABAC 議長  
Wishnu Wardhana